

令和5年度 学校教育アンケートの結果

令和6年2月22日

吹田市立青山台小学校長 熊野 厚博

保護者の皆様、今年度も学校教育アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。

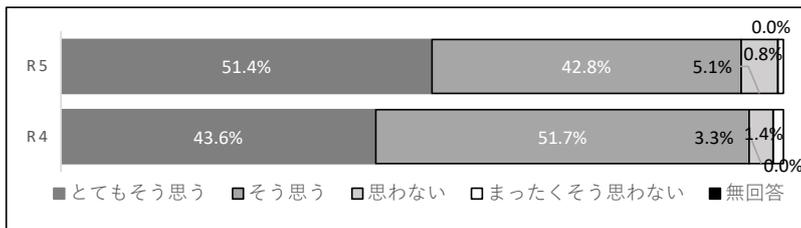
お忙しい中、今年度は昨年を大きく上回る、90%（回答数257名/全児童数283名）の保護者の方に回答をいただきました。本当にありがとうございました。

昨年度より紙配付ではなく、基本電子での回答に変更させていただいております。新型コロナによる学校の教育活動への影響もなくなり、全項目について令和4年度と比較し、集計結果をまとめましたので、下記の通り報告いたします。

ご意見につきましては、教職員全体で真摯に受けとめ、学校力の向上、教育活動の充実に努めてまいりたいと考えております。今後とも、青山台小学校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

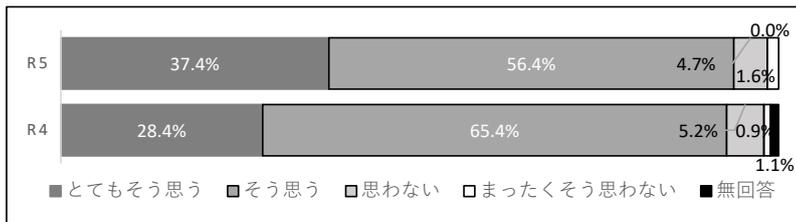
【保護者アンケート】

1. 子どもは、楽しんで学校に行っている。



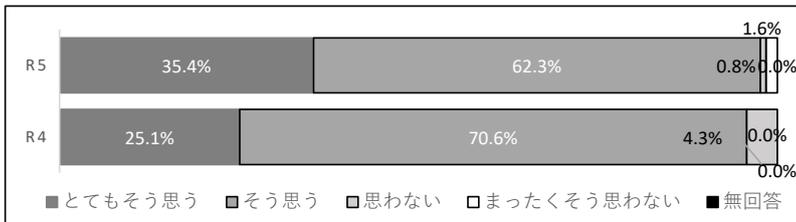
肯定的な回答の割合は、94.2%で昨年度をわずかに下回る結果となった。今後も子供たちが明日も学校に行きたいと思えるように、授業改善や魅力ある行事の実施などの取り組みを進めていきたい。

2. 先生は子どもを理解している。



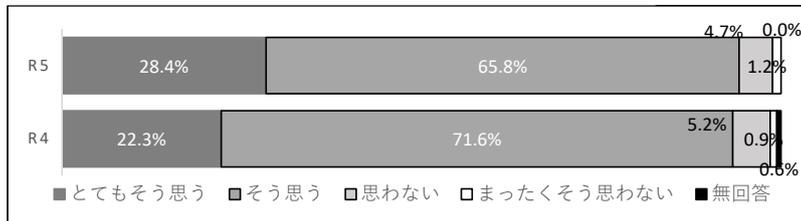
肯定的な回答の割合が93.8%と、昨年とほぼ同じ結果となっている。引き続き子供との関わりを大切に、さらに寄り添い教育活動が行えるように取り組んでいく。

3. 先生は子どものまがった行動を指導してくれる。



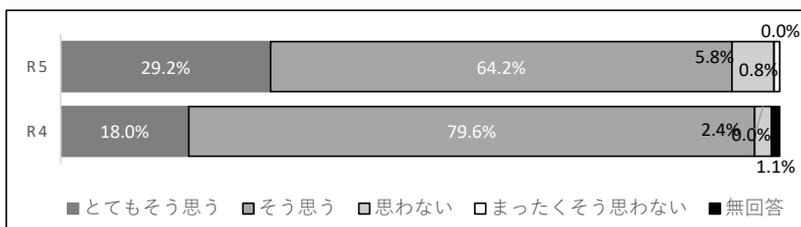
肯定的な回答の割合が97.7%と、昨年を上回る結果となっている。今後も生徒指導上の課題に対応しながら、学校でのルールやマナーについても、職員全体で共通認識を持ち、さらに指導を進めたい。

4. 先生は子どもの評価を適切・公平に行っている。



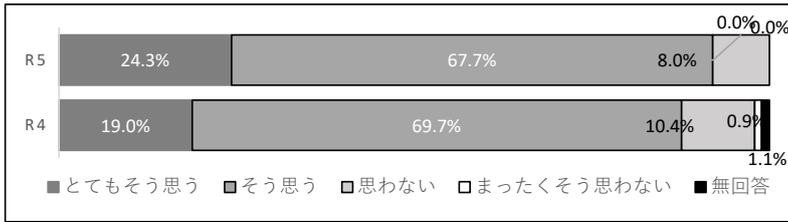
肯定的な回答の割合が94.2%で、昨年とほぼ同じ結果となった。担任を中心とした教職員集団がそれぞれの子供に対し適切な評価をするべく、教職員間の連携を密にし、今後も丁寧に見ていく。

5. 先生は互いに協力し合っている。



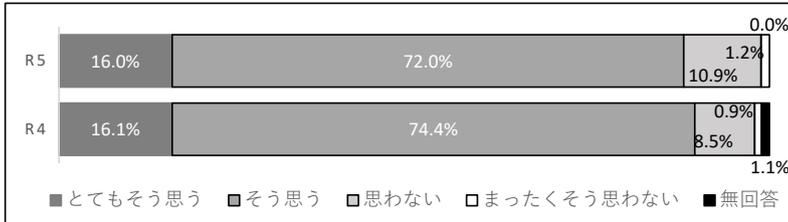
肯定的な回答の割合が93.4%と昨年度を下回る結果となった。学校の教育活動を進めるうえで、教職員が連携した組織体制づくりは必要不可欠である。今後も教職員の情報共有をしっかりと行い、課題に取り組んでいく。

6. 学校は子どものことについて相談しやすい雰囲気である。



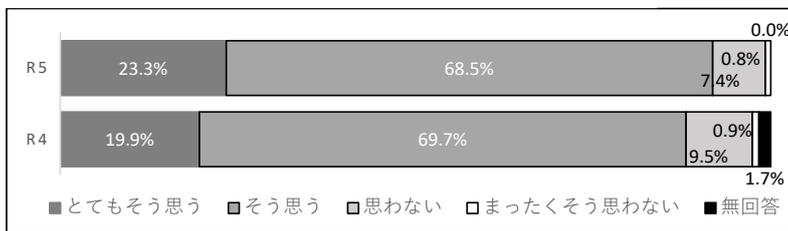
肯定的な回答の割合が92%と、昨年を上回る結果となった。引き続き学校として、担任のみならず、養護教諭や特別支援コーディネータを中心にスクールカウンセラーやSSWなどと連携しながら、相談体制の構築の取り組みを進めていく。

7. 学校は教育方針や教育活動を分かりやすく伝えている。



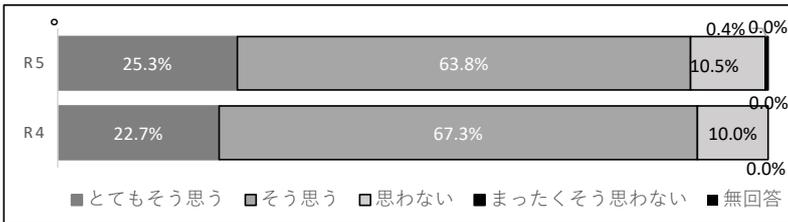
肯定的な回答の割合が88%と、昨年をやや下回る結果となった。学級懇談や個人懇談などを通して、教育方針等をしっかり伝えていく。

8. 指導内容や方法について工夫している。



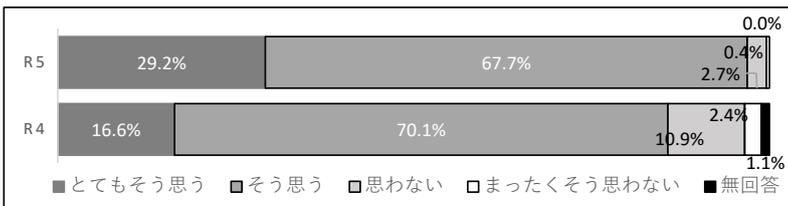
肯定的な回答の割合が91.8%と、昨年をやや上回る結果となった。感染症対策による教育活動に関する制限もなくなり、iPadの活用方法も教職員それぞれに理解し、有効な活用ができた結果かと思う。さらに研究を深め、楽しくわかりやすい授業を作っていく。

9. 学校からのお知らせ（学校だより・学年だより・ホームページ・緊急メール等）の内容は適切で分かりやすい。



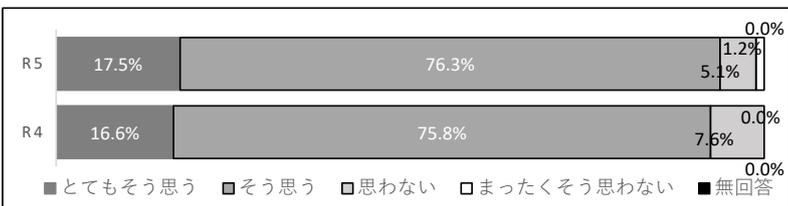
肯定的な回答の割合が89.1%と、ほぼ同じ結果である。今後も必要に応じて紙媒体の文章と、さくら連絡網やHPでの掲載を組み合わせながら、適切な情報発信に努めていく。

10. 授業公開や懇談会、学校行事に参加する機会が適切に設定されている。



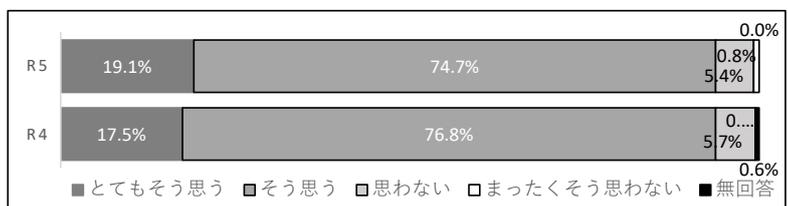
肯定的な回答の割合が96.9%と、昨年を大きく上回る結果となった。昨年までと違い、教育活動に制限がなくなり、通常通りに学校行事等が実施できている。今年度の状況を踏まえ、来年度も保護者に公開する機会をつくっていく。

11. 「学校のきまり」は子どもにとって適切である。



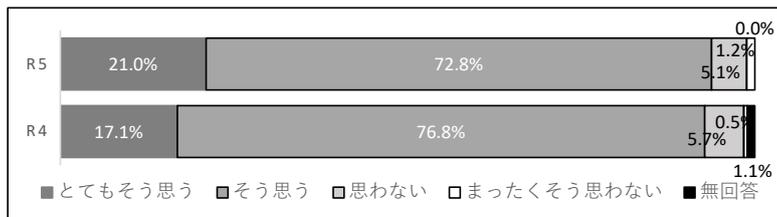
肯定的な回答の割合が93.8%と、昨年をやや上回る結果となった。特に「学校のきまり」については子供の実態を見ながら、引き続き内容を検討し、より良きものへと見直していく。

12. 学校は子どもの適切な生活習慣や学校規律などの基本的な習慣の確立に取り組んでいる。



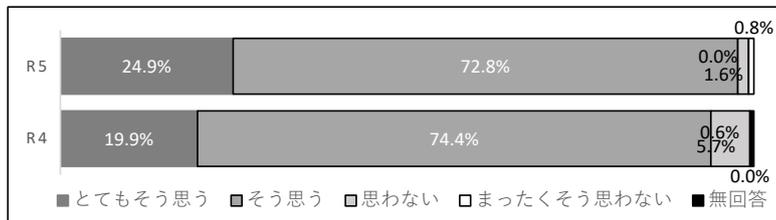
肯定的な回答の割合が93.8%と、昨年とほぼ同じ結果となった。生活習慣や学習規律は子供の学校生活の基礎となるもの。引き続き学校全体で丁寧に指導していく。

13. 学校は発達段階に応じて子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。



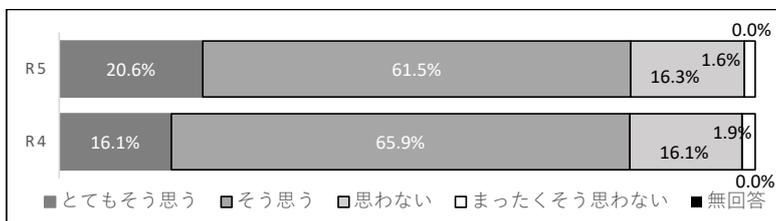
肯定的な回答の割合が93.8%と、昨年とほぼ同じ結果となった。引き続き、道徳の時間を中心として学校生活全般を通じ、人権尊重の精神、自尊心を高める取り組みを進めていく。

14. 学校は子どもに生命を大切にできる心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。



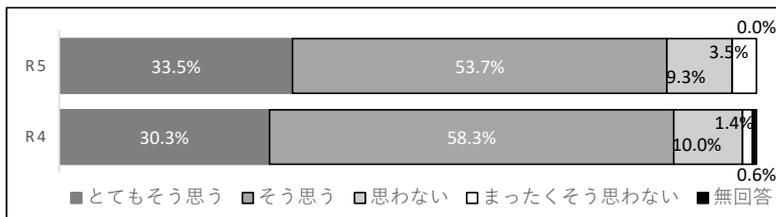
肯定的な回答の割合が97.7%と、昨年を上回る結果となった。引き続き生命の大切さや、規範意識の育成などを学校の教育活動全体を通して指導していく。

15. 子どもは自分の思いや考えを伝える力（コミュニケーション力）がついている。



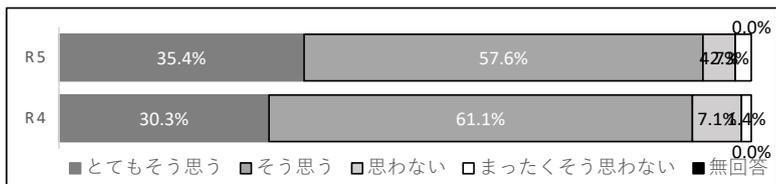
肯定的な回答の割合が81.7%と、昨年とほぼ同じ結果となった。コロナ禍のコミュニケーションがとれない3年間がいまだに影響していると考えられる。クラスだけではなく、異学年交流や、iPadの効果的活用など、自分の思いや考えを伝える機会を増やしていく。

16. 家庭では宿題や連絡帳、おたよりを点検している。



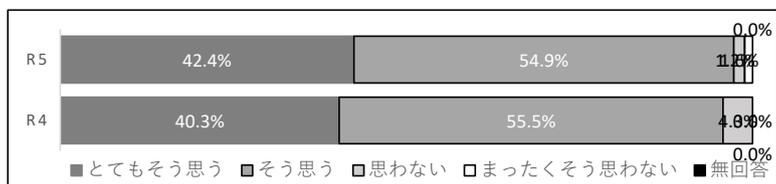
肯定的な回答の割合が、87.2%になっており、昨年度をやや下回る結果となった。今後も子供が円滑に学習活動を進めていけるように、宿題や連絡帳の確認、点検など協力をお願いしたい。

17. 学校のことや学習について家庭で話をする。



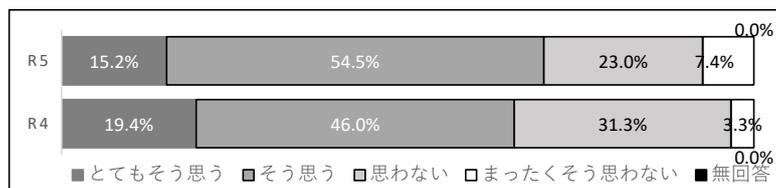
肯定的な回答の割合が93%と、昨年をやや上回る結果となった。保護者からの声掛けは児童にとって嬉しいものであり、今後もご家庭で学校の話をする時間をとっていただきたい。

18. 学校行事（参観懇談、運動会等）に積極的に参加している。



肯定的な回答の割合が97.3%と、昨年をやや上回る結果となった。ようやく行事の公開が通常通りできるようになった。次年度もご参加をお願いしたい。

19. 保護者としてPTA活動に協力、参加している。



肯定的な回答の割合が69.7%と、昨年をやや上回る結果となった。コロナによる制限もなくなり、通常通りの活動が戻った結果であろう。引き続き保護者の参加しやすいPTA活動を模索していきたい。

